

南光台中

一瞬一瞬の大切さ気付く



これがイチオシ

絆をつなぐ「ソーラン」

南光台中学校には、南光台小学校時代から踊る「ソーラン」が受け継がれています。また、両校をつなぐ絆になっています。

新型コロナ前までは、互いに舞いを見せ合う機会がありました。心を一つにした力強い迫力の演舞に、小学生たちが憧れを抱いたそうです。

体育祭ではアレンジを加えて披露します。本番に向けて一丸となって、力強い掛け声と踊りに磨きをかけます。

これからも伝統を大切に、南光台中を活気づけていきます。

学校名 仙台市立南光台中学校
所在地 仙台市泉区南光台7の24の1
創立 1978年
電話 022(388)1261
校長 今野 浩平
生徒 319人

南光台中学校では、1年生の頃から、東日本大震災の学習に取り組み、理解を深めています。2年生は野外活動で、気仙沼市の震災遺構・伝承館を訪れ、災害の実態や悲惨さ、復興に向けて立ち上がる強い姿を感じました。

学習を生かし、私たちはどう生きるか考えています。3年生は修学旅行中、震災について学んだことを埼玉県の中学生に伝え、交流する活動を行いました。語り部として調べ、伝えることが自主的に動くということ

つながりました。語り部活動に取り組み3年生からは「知識を深めるだけではなく、震災を伝えていくという責任が私たちにはある」「次の世代をはじめ多くの人に伝えていきたい」との声が聞かれました。

震災学習を通して、自分たちの当たり前が当たり前ではなくなってしまうこと、今の「一瞬一瞬」が大切だということに気がきました。南光台地区の一員として、中学生として、地域のために何ができるかをこれからも考えていきたいです。

震災学習で理解深める

わが校わがまち スクール通信



今回は 加賀野小(登米市) 多賀城中(多賀城市)



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を訪れた生徒たち

編集委員 金枝隼人、久慈藍里、桑島怜雅、佐々木和奏、佐藤舞由、原田華花、細川実央、松野来璃、毛利一咲(2年)
指導教員 渡辺玲子、内海詠子

みんなで遊び 広がる笑顔

大郷小



これがイチオシ

優しい言葉をカードに

大郷小学校は、大谷、味明、大松沢、粕川の4校が一緒になって誕生した大郷町唯一の小学校です。本年度で11年目を迎えました。

私たちは昨年度から「いいところカード」活動に取り組んでいます。友達の良いところや、してもらってうれしかったことをカードに書いて掲示します。低学年から高学年までたくさんの優しい言葉がハート型のシートにあふれています。活動をきっかけに、友達との仲を、さらに深めることができましたと感じています。

学校名 大郷町立大郷小学校
所在地 大郷町中村屋敷前98
創立 2012年
電話 022(359)2003
校長 青野 禎宏
児童 388人

大郷小学校では、「支え合い 笑顔あふれる大郷小」というスローガンのもと、「よつばタイム」に取り組んでいます。毎週水曜日の業間休みに、自由参加で遊ぶ時間です。

先生の力を借りずに、企画委員会が中心となって開催するよつばタイムには、良さが二つあります。一つ目は、学年関係なく遊ぶことで、自然と笑顔になれることです。年齢がちがうと、話しかけにくいと感じる人も多いためですが、一緒に同じ遊びを行うことで、

いろいろな人と仲良くなることができず。二つ目は、友達の良いところを発見できることです。高学年が優しく下級生のお世話をしたり、みんなの前で活躍したりする姿を見ることができず。笑顔の輪が広がっていきます。よつばタイムにできるすてきな取り組みです。

本年度は、新型コロナウイルスの影響であまり実施できなくて寂しかったです。4月には新入生がやってきます。よつばタイムでみんなで遊んで、もっと笑顔あふれる大郷小にしていきたいです。

自由な「よつばタイム」

よつばタイムで遊ぶ子どもたち。元気な声と笑顔でいっぱいです



編集委員 伊藤奏翔、高橋悠月、上村虎太郎、高橋美月(6年) 熊谷奏太、高橋杏梨、千葉南奈(5年)
指導教員 伊東修平、堀籠あすか、高橋伸夫